

愛西市の市庁舎統合・増築計画に関する住民投票条例制定を求めた直接請求で、同市議会は28日、条例案を否決した。

同市は2005年4月に2町2村の合併で発足し、統合庁舎建設・改修を計画している。「市庁舎統合・増築の是非を問う市民の会」（三枝豊明代表）が今月10日、3936人分の有効署名とともに条例制定の直接請求を日永貴章市長に提出、これを受け市長は17日に条例案を議会に提案していた。

この日の議会では、共産党市議団が、参院選との関係から実施を60日以内とする修正案を提案した。続く反対討論では「議会で議決しており、住民投票は適当でない」「情勢の変化への対応は必要」などの意見が相次いだ。採決は、修正案が賛成少数で、原案は賛成なしで、いずれも否決した。【三鬼治】